

消費税の増税に伴うTDS [見積] Exaの対応について

消費税率を8%から10%に変更する場合について説明いたします。すでにご存知の設定もあるかと思いますが改めて説明させていただきます。

「消費税行」 税率の初期値を変更する方法

- ① [見積] Exaを新規で起動し画面.1の [ファイル | システム設定] の【基本】パネル内〔消費税行〕で「税率」を変更して「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。この設定は、画面.2のコンテキストメニューから「消費税行」を選択して作成された場合に設定される税率です。この場合の行種表示エリアには「%歩掛」と表示されます（画面.3）。
- ② [見積] Exaを終了します（ [既定値保存] コマンドが表示されている場合は既定値保存を行って下さい）。

画面.1

システム設定

基本 | オプション1 | オプション2 | 自動バックアップ

税込行名称
区分(S): (区 分)

消費税(Q): 消 費 税

値引き(D): 値 引 き

総合計(D): 総 合 計

消費税行
税率(O): 10.00 %

丸め(B): 1 円 切り捨て

デフォルト行種の例外
 「記号」から入力した行は親行(E) 「仕様」から入力した行は補助行(L)

【ファイルを開く】の初期値
ファイルの種類(D): システムデフォルト
 シート書式も読み込む(E) 書式名称により書式を選択する(O)

システム初期値に戻す OK キャンセル

画面.2

9	中計		中 計
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16	*合計		
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			

行データのプロパティ(Y) F12

- 空白行(B)
- 注釈行(M)
- 補助行(A)
- 区分行(E)
- 改計行(R)
- 細目行(D)
- 値引行(O)
- 歩掛行(Q)
- 消費税行(X)
- 親行(P)
- 代価行(Q)
- 範囲計行(G)
- 小計行(U)
- 小計行(S)
- 区間中計行(F)
- 中計行(H)
- 合計行(T)
- 再配置(A)

画面.3

9	中計		中 計
10		%歩掛	消 費 税
11			

既に作成されている「消費税行」で税率を変更する方法

既に8%で作成されている「消費税行」の税率を変更する場合には、その行のF12で表示される「行データのプロパティ」の【歩掛・再配置属性】パネル内「掛け率」で変更します（画面.4）。

画面.4

行データのプロパティ

行種・行属性 歩掛・再配置属性

改計行・歩掛行

掛け率(B): [現積値] 10.00 % [予算値] 10.00 %

丸め金額(D): 1 1

丸め方法(D): 切り捨て 切り捨て

再配置位置

- 無指定(B)
- 頁上端(D)
- 頁始端(G)
- 頁終端(E)
- 頁下端(U)

再配置属性

- 直前に空白行を割ける(B)
- 頁終端の場合に1次頁始端とする(O)

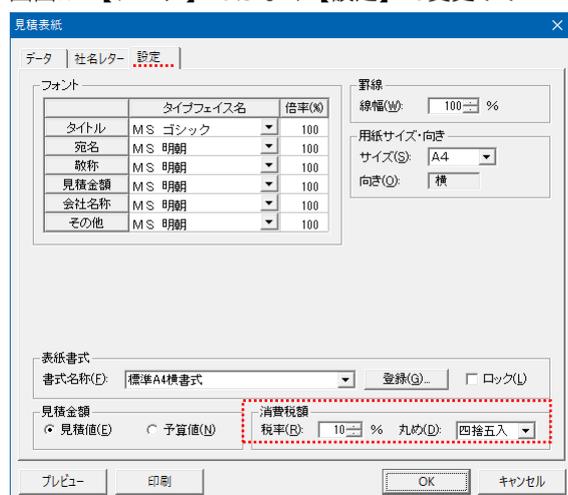
デフォルト記憶 OK キャンセル

「見積表紙」における税率の初期値を変更する方法

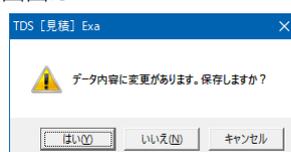
- ① [見積] Exaを新規で起動し [データ | 見積表紙] の【設定】パネル内〔消費税額〕で「税率」を変更します。この設定は、ファイルの新規作成時に「見積表紙」に設定される初期値、また¹既存のファイルでもはじめて「見積表紙」を開いた場合の初期値となります。
- ②変更したら「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じ [見積] Exaを終了します（[既定値保存] コマンドが表示されている場合は既定値保存を行って下さい）。画面.8が表示されますが「いいえ」ボタンをクリックして下さい。

¹「消費税行」と「見積表紙」間の税率の連携について を参照

画面.7 【データ】ではなく【設定】で変更！！



画面.8



「消費税行」と「見積表紙」間の税率の連携について

[見積] Exaのバージョンやリビジョンによって異なります。画面.9の [ヘルプ | バージョン情報] を確認して下さい。

画面.9



1. 最上位明細内に「消費税行」がある場合

Ver.4.24 Revision ID下4桁が'0368' もしくは それ以上

「消費税行」のF12で表示される画面.10の「行データのプロパティ」の【歩掛・再配置属性】パネル内「掛け率」に設定されている値が、[データ | 見積表紙] の【データ】パネル内〔消費税額〕の「税率」に連動されます（画面.11）。【データ】パネル内で税率を変更することができませんが「消費税行」の画面.10で「掛け率」を変更した場合は、【データ】パネル内に連動されます。

画面.10

画面.11

注意:Revision ID下4桁が'0368'より前 もしくは 見積表紙カスタマイズしている

[データ | 見積表紙] の【データ】パネル内〔消費税額〕の「税率」にはそのファイルではじめて「見積表紙」を開いた場合の値が表示されます（画面.12）。【データ】パネル内で税率を変更することができませんが「見積表紙」では「消費税行」のF12で表示される画面.13の「行データのプロパティ」の【歩掛・再配置属性】パネル内「掛け率」に設定されている値で計算されます。

画面.12

画面.13

【データ】パネルで表示されている税率では計算されません。実際の「消費税行」の税率で計算されます。

2. 最上位明細内に「消費税行」がない もしくは「消費税行」の金額が ¥0.-の場合

(バージョンやリビジョンには関係ありません)

- そのファイルではじめて「見積表紙」を開いた場合には [データ | 見積表紙] の【データ】パネル内〔消費税額〕の「税率」は、【設定】パネル内の「税率」が設定されています。

画面.14

The screenshot shows the '見積表紙' (Estimate Sheet) dialog box. The '税率' (Tax Rate) is set to 10%. The '消費税額' (Consumption Tax Amount) is set to '四捨五入' (Round to nearest integer). The '見積金額' (Estimate Amount) is set to '見積値(E)' (Estimate Value).

もし【設定】パネルで8%のままにしていると【データ】パネルも8%と表示されますので「消費税書式」で消費税を表示する設定をした場合は8%のままに計算されてしまいますので10%で計算する場合は【データ】パネル内で「税率」を変更して下さい。

- そのファイルで既に「見積表紙」を開いたことがある場合には [データ | 見積表紙] の【データ】パネル〔消費税額〕の「税率」は、前回「見積表紙」が「OK」ボタンをクリックして閉じられファイルが上書き保存された時の値が表示されています。例として画面.15は前回8%で保存されている場合で「見積表紙」では8%で計算されてしまいます。10%で計算する場合はここで変更して下さい。

画面.15

The screenshot shows the '見積表紙' (Estimate Sheet) dialog box. The '税率' (Tax Rate) is set to 8%. The '消費税額' (Consumption Tax Amount) is set to '四捨五入' (Round to nearest integer). The '見積金額' (Estimate Amount) is set to '見積値(E)' (Estimate Value).

「OK」ボタンをクリックして「見積表紙」を閉じてファイルを上書き保存すると、このファイルの「見積表紙」には変更された「税率」が記憶されます。